

トヨコ通信

2012年12月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2012年 12月 1日 第127号
連絡先 : 大垣市室本町 5-8
日本共産党大垣市後援会
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部内資料

～12月議会が始まります～

新庁舎建設・下水道事業・雇用などで質問予定

12月3日より、平成24年度第4回定例議会が開催されます。会期は18日までの15日間。議案は補正予算など32議案です。主な内容は以下の通りです。

<補正予算>

今議会での補正予算額は一般会計で3億170万円、特別会計で15億9020万円、企業会計が5790万円の追加となりました。そのうちの主なものは以下です。

災害復旧費（農林施設・土木施設）	1億9400万円
簡易水道改良事業費	600万円
市長選挙費	960万円
障害者自立支援医療給付費	3700万円

児童発達支援給付費（障害児通所支援）	2100万円
東中学校北舎改築関連事業	2370万円
競輪事業会計（払戻金等開催経費）	16億2000万円
病院事業会計（災害医療対策整備）	5790万円

<条例>

- ・大垣市職員の給与に関する条例の一部改正について
人事院勧告に準じ55歳以上の職員の昇給を抑制
- ・大垣市下水道条例の一部改正について
下水道事業の安定経営のため、下水道使用料の改定
- ・大垣市手数料徴収条例の一部改正について
低炭素建築物新築等計画の認定にかかる手数料を規定
- ・請負契約の締結について
（仮称）北幼保園新築（建築主体）工事の請負契約
- ・大垣市教育委員会委員の任命について
- ・大垣市固定資産評価審査委員会の選任について

<請願>

- ・敦賀原発1号機、美浜原発1・2号機のすみやかな廃炉を国に求める請願書
紹介議員：長谷川つよし、野田のりお、岡田まさあき、富田三郎、笹田トヨコ

一般質問では「下水道事業のあり方について」「新庁舎建設について」「雇用対策」など、質問を予定しています。ぜひ傍聴しに来てください。

総選挙 自民党型政治との対決を



←かわえ明美・比例予定候補と
高木光弘・岐阜2区予定候補

民主党野田政権のこの1年間は、自民・公明との談合で、消費税増税うあ社会保障改悪を強行してきました。結局「自民党型政治」になっていたのです。国会解散後に次々と生まれた新党も”第3極”とマスコミにもてはやされている党も、そこに集まってきた人は、元自民や元民主といった自民党型政治を進めてきた人たちです。

「消費税増税」「TPP推進」「原発再稼働」「オスプレイ強行配備」など、国民の願いに反する政治が続く根っこには、「アメリカ言いなり」「財界中心」という、長年続いた「自民党型政治」の2つの歪みからきています。

日本共産党はこの「自民党型政治」に一貫して対決してきた政党です。今回の選挙では、自民党の安倍総裁が憲法9条2項を廃して国防軍を持ち、「集団的自衛権行使を明確化」も政権公約にしています。憲法問題も重要な争点になってきました。共産党は戦前戦後、平和のために命をはって来た90年の歴史を持つ政党です。歴史の分岐点に立つ今年の選挙、日本共産党にご支持ください。

十二月議会の日程

	12月3日(月)	10:00	本会議
十二月議会の日程	12月10日(月)	10:00	本会議・一般質問
	12月12日(水)	10:00	決算委員会
	12月13日(木)	10:00	子育て支援日本一対策委員会
		13:00	市民病院に関する委員会
	12月14日(金)	10:00	建設環境委員会
		13:00	経済産業委員会
	12月17日(月)	10:00	文教厚生委員会
		13:00	企画総務委員会
	12月18日(火)	10:00	本会議

大垣市議会 史上初！！ 議会報告会大盛況



11月21日、大垣市奥の細道結びの地記念館で大垣市議会・議会改革議員グループ主催で「議会報告会」が開催されました。テーマは「議会改革と9月議会」で、岡田、粥川、笹田、富田、野田、長谷川議員が報告。会場には約80人が訪れ、満席になりました。会場の熱気に押され私たち議員も熱弁をふるう、第一回目の議会報告会はその力みなぎる議会報告会となりました。

大垣市議会の現状と議会改革の意義

まずはじめに、市民ネットワークの岡田まさあき議員が議会報告会の趣旨と、大垣市議会の現状、そして議会改革の意義を説明しました。今回の議会報告会は、議会改革をめざす超党派の議員グループが主催で、市民に開かれた議会改革をめざして開催したこと、大垣市議会は「日経グローバル」発表の全国自治体議会改革ランキングで、810自治体のうち780位とかなり遅れていること、そしてめざすべき議会改革とは、

- 1) TV・インターネット放映
- 2) 一問一答方式の導入
- 3) 議会基本条例の制定

加速する議会改革

の3点であり、市民に開かれた議会にしていきたいと述べました。

先進議会と比較して不便な大垣市

続いて日本共産党の笹田トヨ子が、大垣市議会と議会運営委員会で視察した3自治体との比較の報告をしました。議会運営委員会の行政視察で訪れた鹿児島市は、一問一答方式を導入しており、質問する議員と答弁する市長・職員とが対面して個別の質問ごとに質疑をし、大変わかりやすいものであること。一方、大垣市の一括質問一括答弁方式は、質問する議員が議場に向かって質問項目を一括して質問し、あとで答弁する市長・職員が各項目についてバラバラに答えるので、大変わかりにくい。何の質問に答えているのかわからないということが問題で、やはり一問一答方式のほうが良いと報告しました。

その他の議員の発言

民主ネットクラブの粥川加奈子議員は議会改革について、TV放映は今では当たり前で、費用も手間もそれほどかからないこと、高山市では充実した議会説明会が行われていることを報告しました。

市民クラブの富田三郎議員は9月議会で提案された保育園・幼保園の入園申し込み制度について報告しました。

市民ネットワークの長谷川つよし議員は行政視察で訪れた宮城県石巻市と岩沼市の震災復興の現状について報告しました。

市民ネットワークの野田のりお議員は現在建設中の北幼保園の建設に関し、建設工事の落札に不透明な部分があったことを報告しました。

市民との活発な討論

会場からは活発な意見が出され、時間が限られており、

議会報告会を開催してみても

議会報告会は初めての試みで、どれだけの人が来てくださるのか不安の中開催しました。ふたを開けてみると、予想以上にたくさんの方が来られ、主催した6人の議員は勇気づけられました。議会用語を使ったり、早口になったり、いろいろ反省点はいっぱいありますが、市民の方から「新聞で知って来たが、このような取り組みはもっと知らせたほうがいいから、次からは近所にチラシをまくよ」とか、「行きたかったけど夜は暗いので行けなかった。今度は昼間に開催してほしい」など、様々な励ましをいただきました。

以下は参加者の皆さんの声です。

- ・議員を身近に感じた。2回3回と続けて欲しい。
- ・大垣市は（議会改革度県内）ビリで恥ずかしくないのか。市長の感想を聞きたい。
- ・海外視察をやめて、上位の市を視察してレベルUPすべき
- ・マスコミを使ってもっと大問題にして、早期に実現して欲しい。
- ・行政に興味が出た。何でも要望を伝えて良いのだと思えた。
- ・議論をもっと深めて欲しかった。市政勉強会を開設して欲しい。休日の昼で場所は市中心部で開催を希望。
- ・各委員会で傍聴者も発言をさせていただきたい。

3人の意見について討論がなされました。「活字の負担が大きい高齢者にはTV放映は助かる」「市職員の教育や機能チェックを議員はどうやっているのか」「長谷川議員の被災地視察を受けて、防災について大垣市で不足している点は何か」と、積極的な意見が出されました。